

バグダッド・カフェ / パーシー・アドロン監督作品

MARIANNE SÄGEBRECHT JACK PALANCE CCH POUNDER

DIRECTOR/STORY: PERCY ADLON PRODUCERS: PERCY & ELEONORE ADLON MUSIC: BOB TELSON

DIRECTOR OF PHOTOGRAPHY: BERND HEINL SOUND: HEIKO HINDERKS EDITOR: NORBERT HERZNER

ART DIRECTORS: BERNT AMADEUS CAPRA / BYRNADETTE DI SANTO

TITLE SONG "CALLING YOU" SUNG BY JEVETTA STEELE

A PRODUCTION OF Pelemele FILM GmbH

OUT OF *Rosenheim*

BAGDAD CAFE

好きなら好きと言って、素直に。

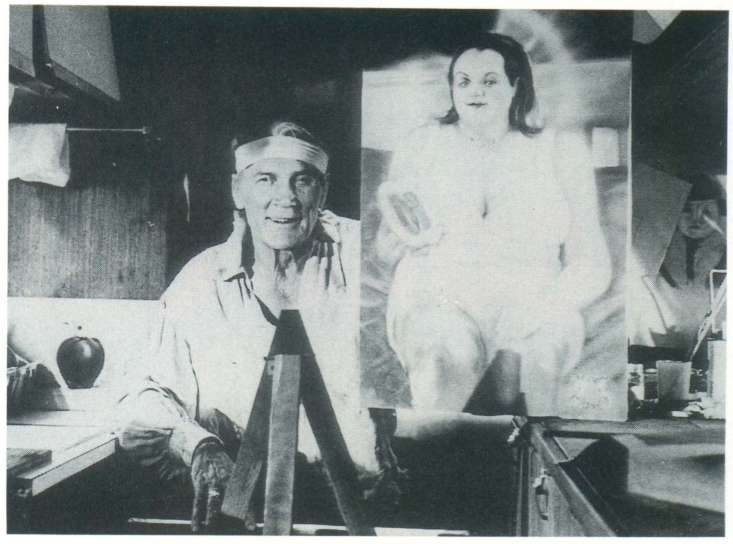


KUZUI エンタープライズ





イラスト: MON



バグダッド・カフェ パーシー・アドロン監督作品

BAGDAD CAFE

光と

アメリカ、ラスヴェガスとロスアンゼルスを結ぶ道すじにあるモハーヴェ砂漠のはずれ。すぐ脇のハイウェイを疾走していくトラック、風に飛ばされる黄色い砂にさえとり残された、寂しげなモーテル『バグダッド・カフェ』。ここをさりもりしているのは黒人女のブレンダだ。役に立たない夫、自分勝手な子どもたち、使用人、モーテルにいついた住人たちにまで彼女はいつも腹を立てている。そこへある日、ひとりの太ったドイツ女がやってきた。彼女の名はジャスミン。大きなトランクを上げ、スーツを着こみ、砂ぼこりの道をハイヒールで歩いてきたこの奇妙な客に、不快な表情を隠そうともしないブレンダには想像もつかなかった。ジャスミンが、さびれた『バグダッド・カフェ』を砂漠の中のアオアシに変貌させることになろうとは……。

風の

監督パーシー・アドロン、女優マリアンネ・ゼーゲブレヒトは『シュガー・ベイビー』(84)で、日本初上陸。太った女と地下鉄運転士の愛の物語に続いて二人が組んだのが、砂漠に芽生えた友情の物語『バグダッド・カフェ』だ。ビールを置いていないためか、主人に愛想がないためか、滅多に客の来ないモーテル&カフェ。カメラはこの間の抜けた風景を捕えて動かない。道路を走りすぎていく人々が主人公の映画をロード・ムービーというなら、これはさしずめロードサイド・ムービー。移動していく風景はよけいな干渉もしないけれど、ふと立ちどまってしまったこの道ばたは暖かい。流れていく風景はいつでも目

に新しいけれど、見慣れた景色の上に広がる空は柔らかな色に変化して懐かしい。そしてそこに集まってくるのはちょっと疲れた寂しい人たちなのだ。

マジック魔法

ジャスミンを演じるのは『シュガー・ベイビー』のマリアンネ役でエルンスト・ルヴィッチ賞を受賞したマリアンネ・ゼーゲブレヒト。太った身体が愛らしい彼女は、演出など多方面に才能を発揮している。バグダッド・カフェの女主人ブレンダ役には、ギアナ出身で英国育ちのCCH・パウンダー。アメリカに渡ったのち数々の舞台に立ち、映画ではこれが初の大役となった。

さらに映画を味わい深いものにしてるのは、この二人をとりまく顔ぶれだ。モーテルの住人で、トラックの運転手相手の女刺青師デビーにクリスティーネ・カウフマン。カフェの敷地内にとめたキャンピング・カーで暮らす画家ルーディにジャック・パランス。特に、ジャスミンにほのかな想いを寄せるパランス老の演技は心に残る。

監督のパーシー・アドロンは1935年、ミュンヘン生れ。役者、ラジオ講師、脚本家、ナレーター、映画評論家の経歴を持つ。冒頭、不安定な画面で一気に観客をひきつける撮影はベルント・ハインル。音楽はポップ・テルソン。ゴスペルほか多方面の作曲、編曲家として活躍、70年代にはフィリップ・グラス・アンサンブルでキーボードを弾いていた。主題歌『コーリング・ユー』はジュヴェッタ・ステイール。

「光線」「風」、そして彼女の歌う『コーリング・ユー』は、乾いた砂漠に微妙な表情を与える印象的なモチーフとなっている。

サウンドトラック/日本コロムビア



スタッフ
 製作・脚本/パーシー&エリオノール・アドロン
 監督/パーシー・アドロン
 撮影/ベルント・ハインル
 音楽/ポップ・テルソン
 主題歌/ジュヴェッタ・ステイール『コーリング・ユー』
 キャスト
 マリアンネ・ゼーゲブレヒト
 CCH・パウンダー
 ジャック・パランス
 クリスティーネ・カウフマン
 配給: KUZUIエンタープライズ

2/24 (土)より 3/9金まで **ロードショー!**
 アンコールノ
 特別鑑賞券 ¥1,200 好評発売中 / (当日一般 ¥1,600 / 学生 ¥1,300)
 当劇場窓口及びチケットぴあにてお求め下さい。

熊野神社前MYU2F 03(717)6341
自由ヶ丘武蔵野館
 連日 11:50 | 1:40 | 3:30 | 5:20 | 7:10 | 9:00
※入場券のみ 9:00

パーシー・アドロン監督最新作『ロザリー・ゴース・ショッピング』シネマライズ渋谷(TEL464-0052)にて近日ロードショーノ